

## 第10回世界健康安全保障イニシアティブ（GHSI）閣僚級会合概要

日時

2009年12月3日（木）～4日（金）

場所

ロンドン（イギリス）、ランカスターハウス

参加者

G7各国（カナダ、フランス、ドイツ、イタリア、日本、イギリス、アメリカ）及びメキシコ、EC（欧州委員会）から保健担当閣僚等が参加。WHOがオブザーバーとして参加。

我が国からは国際保健担当審議官ほか3名が参加。

会議の主な目的

例年11月又は12月に行われている、GHSIの年次閣僚級会合であり、GHSIの下に設けられている各ワーキンググループ（WG）の1年間の活動成果を確認し、翌年以降の活動方針を議論し、合わせて直近の健康安全保障をめぐる話題について意見交換が行われた。会議の成果については共同声明を採択し、記者会見を行って公表した。

共同声明の概要

- ・ 新型インフルエンザに対するワクチン戦略、抗ウイルス薬の使用、リスクコミュニケーション戦略等についての情報交換、比較及び議論を行い、ハイリスクグループへのワクチン接種の継続、国際支援についてのWHOへの協力、ワクチンの安全性モニタリング等の重要性を確認した。
- ・ 今年度の、各WGにおける、テロ等への対策に用いる薬剤の開発・備蓄に係る課題の検討、脅威の早期探知システムの開発、化学・放射性物質等の脅威への対応能力強化のための協力等の活動成果を確認した。
- ・ 次年度の活動について、包括的なリスク評価の実施、新型インフルエンザ対策からの教訓の抽出と他の脅威への対策への応用の検討、オリンピック等の大規模集会の準備についての検討、汚染物質の除染手法の検討等、各WGの分野横断的な取り組みを実施することを決定した。